



BAUERFEIND ソフテックOA

警告

- ソフテックOAは医師により処方され、医療スタッフの監督のもと適合されます。ソフテックOAは本書の使用手順に従い、特定の適応症に限って装着いただきますようお願い致します。
- 本製品は、装着者1人に1製品を適合するようお願い致します。
- ソフテックOAの修正や、継手の調整は義肢装具士のみがするようお願いいたします。義肢装具士以外の修正や調整は、製品の動きを損ね、製品にかかる責任を取り消すこととなります。
- (症状の悪化など)異常な変化に気づいたときは、直ちに医師に相談して下さいようお願いいたします。
- 他の製品(例、圧迫ストッキングなど)との併用は、必ず医師と相談の上で行って下さいようお願いいたします。
- ソフテックOAは長時間の安静時(夜間就寝時など)には取り外すようお願い致します。日中、長時間安静にしている時(長時間の座位など)には、ベルトを僅かに緩めることをお勧めします。
但し、緩めたときには、活動に移る前に、忘れずにソフテックOAが正しく位置に適合していることを確認するようお願い致します。
- 手指に怪我を負わないように、しゃがんだり、深く膝を曲げたりする時は、太ももや膝の裏に手を入れないようお願い致します。支柱の構造物が近づき、手指をはさんで怪我を負う恐れがあります。
- 現在まで、健康に害を及ぼすような過敏症の反応は報告されておりません。
以下の症状の場合は、医師の診察の後に適合、装着するようにしてください。
 1. 腓骨神経を外科的に除去している場合。
 2. 装具装着部位の皮膚疾患や損傷で、特に炎症が見られる場合。同様に、腫れ、発赤、過度の体温上昇が見られる場合。
 3. 静脈瘤
 4. 下肢の感覚障害や循環不全。例、糖尿病など。
 5. リンパ流の異常。装具装着部位から離れていても、起始(始まり)が不明確な軟部組織の腫脹(脚の腫れ)を含みます。

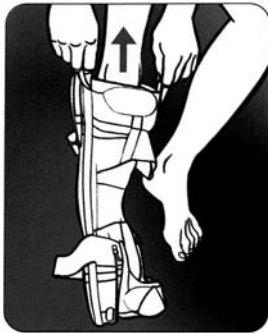
注意

- 現在まで副作用についての報告は受けておりませんが、これは正しい適合を前提にしています。サポーターや装具など、身体の外部に装着するものはその種類に関わらず、締付けすぎますと、局所的な圧集中の兆候を示したり、稀にですが、装着している部位の血管や神経を締め付けることがあります。
- 万一、脚の皮膚に違和感を覚えたり、足を持ち上げる筋肉が弱ったとお感じの場合は、直ちに使用を中止し、医師にご相談ください。
- 誤った装着や、エアパッドの膨らませすぎは、炎症や腓骨神経の損傷を招く恐れがあります。
- 軟膏やローション、グリースや酸が、装具に直接つかないようにお願いいたします。
- 製品の廃棄については各地域の自治体の指示に従って下さい。

ソフテックOAの装着及び取外し方

装着方法

図1



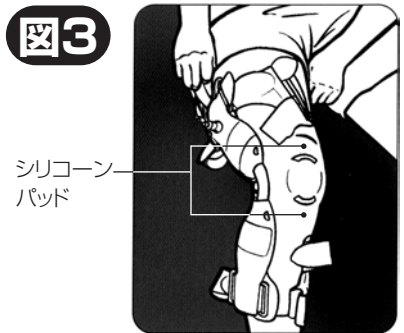
- 装着前に、上下のファスナーを2つとも開きます。
- 装具の上の端（ラベルがついている側）を装着し易いように、両人差し指を上端についでいるループに差し込みます。前後が逆になるように下にあるファスナーが前にくるようにします。（図1）

図2



- 装具の下の端が、くるぶしより上にくるよう引き上げます
- すねの周りで、装具を半回転（180°）させます（図2）。
- 支柱が脚の外側にきていることを確認します。

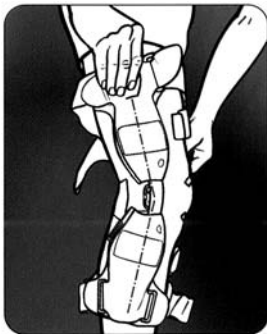
図3



シリコーンパッド

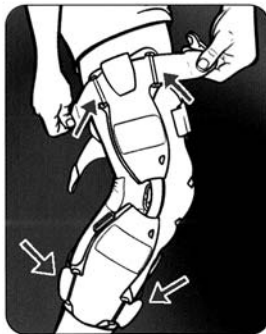
- 膝を30°程曲げたまま、装具のシリコーンパッドの間に、膝のお皿がくるまで、装具を引き上げます。（図3）

図7



- 脚を伸ばした時、脚の骨に沿っているのかを確認します。（図7）

図8

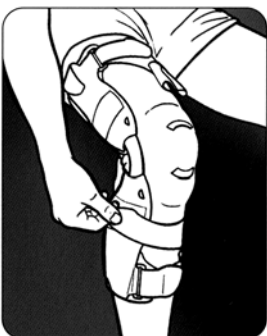


- 以下の手順に従い、マジックベルトをプラスチックリングに通し、緩く締めます。
 - (1)一番下の2本の灰色ベルトを、赤のプラスチックリングに（図8）
 - (2)一番上の2本の灰色ベルトを、赤のプラスチックリングに（図8）
 - (3)ふくらはぎの赤のベルトを、金属製リングに（図9）

図9



図13



- 次に、すねの方にある、赤の矯正ベルト（下から2番目のベルト）を軽く引いて締めます（図13）

図14

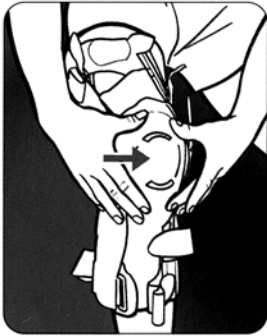


- 太ももにある2本の赤の矯正ベルト（上から2番目のベルト）を、ベルクロ®の上にくるよう、均等に横に引いて締めます。
- 最初に後ろのベルトを締め、そのベルトの上に重なるように、前のベルトを締めます。（図14・15）

図15

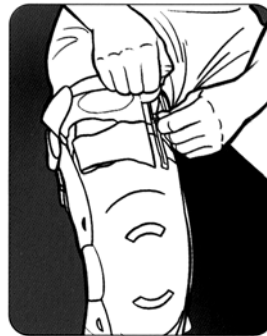


図4



- 膝のお皿が正しい位置にきているかどうかを確認します。
- シリコンパッドの内側にある、2つのマークの間にお皿が来ているのが理想です。(図4)

図5



- まず、太もものファスナーを締めます。(図5)

図6



- 次に、ふくらはぎのファスナーを締め、ファスナーカバーを閉じます。(図6)
- 同様に太もものファスナーを締め、ファスナーカバーを閉じます。

図10



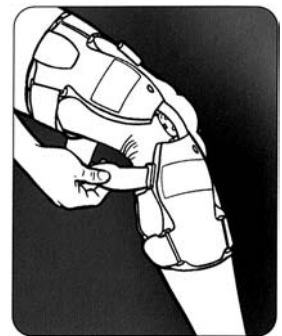
- 一番下の2本の灰色ベルトを同時に締めます。(図10)

図11



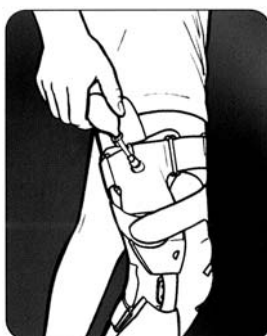
- 一番上の2本の灰色ベルトを同時に締めます。(図11)

図12



- 金属リングに通した、ふくらはぎの赤ベルトを締めます。(図12)

図16



- 装具外側の上にある、空気注入口の蓋を開け、商品に付属のポンプで空気パッドを膨らませます。(図16)

図17



- 空気の量は、歩行中の症状が和らぐまで、お一人毎に調節できます。



空気の量は、医師または義肢装具士の指導に従って下さい。

取外し方

1. 装具をはずす前に、軽く空気注入口の横を押し、空気パッドの空気を抜きます。(図17)
2. 装着した時と反対の順番でベルトをはずします。足を覆うくらいまで装具を押し下げます。
3. ベルトを緩く締め、ベルクロファスナーを留めておきます。

お手入れの方法



手洗い



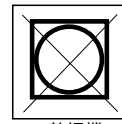
×漂白剤



×アイロン



×ドライクリーニング



×乾燥機

- 本製品には、直射日光やヒーターなどの熱に、直接さらさないで下さい
- 中性洗剤を使い、20～30℃のお湯で手洗いをします。
- 最初に、装具の横のポケットから、空気パッドつきの支柱を取り外します。
- 製品の損傷を避け、長期間にわたり固定力を保つよう、お洗濯の前にベルクロテープを留めておくことをお奨めします。
- お洗濯は以下の手順で行います。
 - 1.初めに、一番上の2本のベルトをはずします。ベルトはプラスチックリングから抜きます。ベルトの端を折り返して、ベルクロを留めておきます。
 - 2.一番下の2本のベルト、ふくらはぎ側の金属リングに通したベルトを、1と同じようにはずして、留めておきます。
 - 3.リングに通していないベルトもはずし、同様に端を折り返して留めておきます。
 - 4.次に、外側の支柱を収納しているポケットのベルクロをはずして、ポケットを開きます。
 - 5.支柱を取り除きます。
注意：支柱はお客様の身体に沿うように成型されています。お洗濯がお済みの後は、空気注入口が上になるよう、ポケットに収納し直して下さい。
 - 6.ここまでお済みになったら、全てのベルトを元の位置に留めます。リングに通すベルトは、全て対応するリングに通すようにしてください。ベルトを元の位置で留めたら、お洗濯に移ってください。
 - 7.お洗濯が済み、乾燥し終わった後、外側のポケットに支柱を収納し、ポケットのベルクロを留めます。

サイズ

製品には左右があります。
色は黒、チタンの2色があります。



単位 (cm)

サイズ	1	2	3	4	5	6	7
パテラ部周径	32～35	35～38	38～41	41～44	44～47	47～50	50～53
遠位15cm周径	31～35	34～38	36～40	39～43	42～46	45～49	48～52
標準サイズ							
近位17cm周径	41～45	44～49	48～53	51～57	54～60	57～63	60～66
プラスサイズ (大腿部が太いタイプ。近位周径のみが異なります)							
近位17cm周径	44～49	48～53	51～57	54～60	57～63	60～66	63～69

本製品は改良のため、予告なく変更を行なう場合があります。

Bauerfeind Orthopädie GmbH & Co. KG 日本総代理店

パシフィックサプライ株式会社 (本社) 〒574-0064 大阪府大東市御領1-12-1 TEL:072-875-8008(代) FAX:072-875-8010(代)

2006.12